

かわぐち

2006. 10月号 No.396

今月の主な内容

- 担い手育成と集落営農の推進の取組 2~3
- り災者公営住宅の入居時期は..... 4
- 防災をみんなで考えよう..... 5
- 祝・敬老の日、高齢者の長寿、健康を祝福..... 6
- 固定資産税の住宅用地に対する特例のお知らせなど..... 7
- ほか



震央の棚田で2年ぶりの稲刈り

9月22日、中越大震災の震央（武道窪）に位置する棚田で稲刈りが行われました。

木沢地区の星野秀雄さんが所有する棚田の震央にあたる場所には、昨年10月、町内の小中学校の児童、生徒が寄せ書きし、「かわぐち体験防災キャンプ・本震震央探索ハイキング」の際に立てられた標柱があります。

震災からの復旧で2年ぶりの稲刈りとなるこの日は天候に恵まれ、絶好の稲刈り日和。星野さんは黄金色にきらめく稲穂を額に汗をにじませながら刈り取っていました。刈り取った米はお世話になった人たちに配るそうで「出来がよく満足しているよ。」と話していました。



元気です!かわぐちっこ ⑩

ようご
関 耀吾 ちゃん (牛ヶ島・2歳)

おとうさん おかあさん
崇経さん さやかさん



弟思いの耀吾くん(右)と弟の奏汰くん(左)

ドライブが好きな耀吾くん、自動車に乗って友だちの家に遊びに行くことを楽しみにしています。乗り物では新幹線が大好きで、最近ではプラレールにはまっています。弟の奏汰くんと仲良く遊んであげたり、お兄ちゃんの自覚が出てきました。音楽が鳴ると元気に踊りだすひょうきんな耀吾くんでした。

俳句 (9月) 大内迪子先生選

- 特選句
- 夏草や地震ゆゑ捨てし父祖の家
 - 働ける人には遠く昼の虫
 - 今年より客席に座す敬老会
 - まっ先に風つかまへし秋桜
- 入選句
- 師の句碑をくり返し読む涼しさよ
 - 小流れの音のしいる今朝の秋
 - 明け初めて清らかなりし白むくげ
 - 内孫の二男成人夏来る
 - 夜はまた心に残る虫が鳴く
 - 稲の穂に指ふれ廻る笠の人
 - 秋風の吹くだけでよし散歩道
 - 尼の墓崩れしままに虫鳴けり
 - 冬瓜を両手に下げて来られたる
 - 被災田に紫雲のかかる今朝の秋
 - せっかは父似夜明けの大根蒔く
 - 魚野川渡る風にも秋の音
 - 老いたりや少年兵に終戦日

- 石坂シゲ
- 藤田節子
- 上村たつお
- 丸山好枝
- 岡村佐和子
- 中沢昭一
- 星野きの
- 真島セツ
- 丸山トシ
- 三輪京子
- 目黒せつ
- 山田久子
- 山田チヨ
- 鈴木良仙
- 渡辺登子
- 森山菊江
- 佐藤信

■次会のお知らせ
10月7日(土) 生涯学習センター 13時から

■第16回町民俳句大会
投句締め切り 10月7日(土) (3句以内)

私たち農事組合法人を立ち上げました

農事組合法人サンドリーム西倉

設立年月日 平成17年3月1日
経営面積 5.7ha(一部受託 11ha)
組合員 22人

特徴 川口町で農事組合法人を最初に始めました。休みの組合員が交代で農作業を行っています。春は農協から育苗5,500枚を受託しました。



代表理事 関博茂さん(西倉)のコメント

農事組合法人では高い農機具を個人で買わなくてよい利点がありますが、なにより仲間と共同で作業できる楽しみができました。様々な苦労もありましたが、会社名のついた米を出荷できる体制にすることができ、徐々に目標に近づいています。

安全・安心の米づくりをモットーに作業を行っています。これからは全耕地で特別栽培米を作り、付加価値をつけた米をどんどん出荷したいと思っています。このため、現在は関東圏の販路開拓に力を入れています。地区内外だけでなく、いずれは町内どここの田んぼでも作業を受けたいと思っています。

町内では3つの農事組合法人が設立されています。実際に農業を共同経営されている皆さんに法人設立の経緯やこれからの展望などについて聞きました。



▲サンドリーム西倉の作業



◀女性も参加しての農作業(グループファーム武道窪)

農事組合法人ファーム田麦山

設立年月日 平成18年2月14日
経営面積 11.3ha
組合員 24人

特徴 組合員が自分でできる作業に参加し全員の協力で農作業を行っています。使用できる機械を使って初期投資を抑えました。



代表理事 浦井清嗣さん(前原)のコメント

集落営農によって農地が集積され、飛び地が少なくなり作業時間が減りました。みんなで作業することで、1人当たりの労力も少なくなりました。なにより共同化で農業を語り合える仲間ができ、農作業を続けていく活力になっています。

これからは田植えや稲刈りツアーなどで都会との交流を行っていきたくと思っています。田植えツアー参加者などから「ファーム田麦山の米がほしい」との声があることから、この交流が生産・販売に実を結ぶことを期待しています。また作業の効率化を図り、参加者が増えてくれることを期待しています。

農事組合法人グループファーム武道窪

設立年月日 平成17年9月30日
経営面積 11.4ha
組合員 19人

特徴 組合員と若手、女性など全員で協力し合い田植え、稲刈りなどの作業を行っています。月2回の会合を開き、情報交換を行っています。



代表理事 阿部晴夫さん(武道窪)のコメント

地震で農機具兼作業所が壊れて個々に農業を続けていけなくなったので、集落全員に声をかけて共同化し、経費をできるだけ抑えるようにしました。組合員やその家族の協力で農作業の時間は少なくなりました。若い人からも積極的に作業に出てもらっているのが、頼もしいです。

農機具に乗ったことのない人にも乗ってもらっています。これからは全員に通りの作業ができるようになってほしいと思っています。特に若い人から様々なことを覚えてもらいグループファーム武道窪を引っ張ってほしいです。

活力ある元気な農業の実現を

担い手の育成と集落営農の推進の取組

町では地域農業の活性化と震災からの営農復興、新たな米政策への対策などに向けて、担い手の育成と集落営農の推進に取り組んでいます。この取組と町内で設立された3つの農事組合法人を紹介します。

農家の現状

当町は全農家の9割が兼業農家で、経営面積1畝未満の農家が6割を超えるなど、小規模経営農家が多い現状です。また農業者の高齢化や後継者不足が進んでいます。このような状況の中、震災の影響による農地の復旧や壊れた高額農機具の購入、作業場の建設など小規模経営農家では、その負担が重く、また後継者もいないことから離農が進み、農地の遊休化も懸念されています。

平成18年産水稲の作付状況は約337畝で、震災前と比べ約91%の作付率となり復旧工事の進捗状況だけではなく、離農が懸念される状況です。

国の政策により「担い手の確保と育成」が急務

また国では農業の基盤を強

化するために平成19年度から担い手の経営安定を図る施策(品目横断的経営安定対策)を実施することになっています。

これは認定農業者で経営面積が2・6畝(田、畑)以上の農家が対象で、米価の下落などにより所得が減った場合、加入農家の積立金と国費により減収額の9割まで補填される制度です。

この制度により今後「担い手の確保と育成」が急務となってきました。

農業共同経営のメリット

これらの問題を解決する方法のひとつとして農業の共同経営(集落営農、法人化)があります。共同経営のメリットとして次のものがあります。

- ① 農業のコスト低下(機械の共同化など)
- ② 農作業にゆとりが生じる(集団で行う農作業は効率的です)
- ③ 個々の適性に合った農業が可能(高齢者、女性、兼業農家それぞれの特技や適正に応じた役割が可能)

町の取組は

町では「担い手の確保と育成」を進めており、担い手の農地の集積率の目標を現状の18%から、県目標の50%としています。

町(農村振興課)と新潟県、JA北魚沼川口営農センターが一体となり、各集落からの要望により「農業生産法人」や「集落営農組織」など、各集落の条件にあった組織づくりの助言、指導を行っています。各集落の農家で検討するときは、農村振興課又はJA北魚沼川口営農センターまでご連絡ください。

問い合わせ 農村振興課
☎ 89-3113
JA北魚沼川口営農センター
☎ 89-4059



▲ファーム田麦山の作業

4地区のり災者公営住宅完成

建設中の公営住宅の 入居時期などをお知らせ

昨年11月から建設工事を進めていた和南津、田麦山、相川及び貝ノ沢地区のり災者公営住宅が完成しました。このほかに建設工事を進めている公営住宅の入居時期などをお知らせします。



り災者公営住宅 (田麦山)

4地区の全世帯入居完了

和南津、相川、田麦山地区のり災者公営住宅は9月1日、貝ノ沢地区は9月15日から、順次入居が始まりました。入居手続きは順調に進み、4地区21世帯の入居が完了しました。

建設中の公営住宅の入居予定時期は

現在、建設している公営住宅の入居予定の時期は次のとおりです。

- 12月完成、入居開始予定
 - ・西川口地区り災者公営住宅 (25戸)
 - ・小高住宅 (4戸)
 - ・よしとみ住宅 (16戸)
- それぞれ早期の完成を目指して工事を進めています。なお、東川口地区り災者公営住宅は町議会での承認後工事着手の予定です。

○平成19年度完成予定
・東川口地区り災者公営住宅 (38戸)
り災者公営住宅の家賃を減免します

町ではり災者公営住宅への入居者の生活再建を支援するため、家賃を次のように減免します。

減免方法
り災者公営住宅の供用開始年度を1年目とし、3年間家賃を減免します。

- 1年目 基準家賃の30%
- 2年目 基準家賃の20%
- 3年目 基準家賃の10%

新潟県中越大地震復興基金被災者住宅支援事業 公営住宅入居支援

中越大地震復興基金では次のような公営住宅入居者への支援を行っています。

補助対象者
震災時に居住していた住居等が半壊以上(一部損壊に変更予定)の被害を受け、自宅再建を断念し公営住宅に入居することとなった高齢者又は障害者世帯



り災者公営住宅 (相川)

補助金額
収入月額に応じて算出した減免額を家賃から控除した額を補助します。

補助期間
入居の日から5年間(すでに入居している人は平成18年4月1日から実施の被災者住宅支援事業開始から5年間)

町では、り災者公営住宅入居者の収入状況などを考慮し、「町のり災者公営住宅家賃の減免」と「中越大地震復興基金の公営住宅入居支援」のどちらかを選択して公営住宅家賃の減免を行います。

問い合わせ 建設企業課
☎89-3114

防災 についてみんな で考えよう

10月8日「防災訓練」、10月14日、15日「かわぐち体験防災キャンプ」が行われます。中越大地震から2年、この機会にもう一度防災について考えてみませんか。多数のご参加をお願いします。

10月8日 町防災訓練を実施

町及び町消防団などが参加して和南津地区を対象とした防災訓練を実施します。これは住民が訓練に直接参加し、防災に対する意識の高揚を図り、万が一災害発生した場合には、冷静かつ安全に行動できるように訓練を通じ習慣付けを行うことを目的としています。



防災行政無線による広報を行います

当日、和南津地区において、防災行政無線による広報を行います。

この無線では「訓練である旨」の広報をしますので、実際の災害とお間違いないようお願いします。

- ・和南津地区町民
- ・小千谷地域消防本部
- ・川口町消防団
- ・川口町

参加団体
和南津集会所
和南津地区町民
小千谷地域消防本部
川口町消防団
川口町

'06 かわぐち体験防災キャンプ

—遊び・学び・感じながら考える防災—

○イザ!カエルキャラバン inかわぐち



子どもたちを対象として行われ、ゲーム形式の防災訓練や防災をテーマとしたアニメ、絵本、シミュレーションゲームなどが楽しめます。

日時 10月15日(日)

13時~16時

参加無料

会場 蒼丘の杜公園 すばらく川口

「かえっこ」って?

子どもたちがお金を使わずに買い物遊びを楽しみながら体験できる遊び場です。

いざ!というときに大切なことを、楽しみながら体験するとかえっこに必要なカエルポイントがもらえます。



①遊ばなくなったおもちゃなどを持ってきてください

②「かえっこバンク」にもっていくとカエルポイントに代えてもらえます

③そのポイントでそのおもちゃと、かえっこできます

④防災プログラムの体験やお手伝いをしてカエルポイントがもらえます

⑤カエルポイントを貯めて、かえっこオークションに参加することができます

かえっこを運営する子どもスタッフ、サポートする大人スタッフ募集!

特に申し込みは必要ありません。手伝ってくれる子どもや大人は開催1時間前に直接会場にお越しいただき、Tシャツを着た運営スタッフに声をかけてください。

○キッズ・トライ・キャンプ in木沢

〜キッズ冒険者たちよ、ミッションをやり遂げろ〜

地震が起きたときの生活を親子で実際に体験するキャンプです。炊き出しの材料を求めて集落を駆けまわる大借り物競走など親子で楽しみながら防災の知恵を学びます。

日時 10月14日(土)

12時30分~翌9時

会場 木沢集落

※親子20組限定募集

参加費 大人 3000円

子ども 1500円

問い合わせ・応募先

中越復興市民会議

☎30-3460

農村振興課

☎89-3113

祝・敬老の日

高齢者を敬愛し、長寿、健康を祝福

敬老の日を前に岡村町長が長寿者を表敬訪問し、各地区では敬老会が行われるなど、高齢者の長寿と健康を祝いました。

各地区で敬老会を開催

各地区では敬老の日の前日、田麦山小学校体育館で、75歳を中心に敬老会が行われました。各地区では敬老会が行われるなど、高齢者の長寿と健康を祝いました。



田麦山地区では9月17日、田麦山小学校体育館で、75歳以上の高齢者を招き、「田山区敬老のつどい」を行いました。

参加者は約75人で、飛び入りで次々に天神ばやしや民謡を唄い、会場は拍手喝采で盛り上がりました。近所との気の合う仲間と楽しく語り合い、また町外から戻ってきた人との久しぶりの再会に話も弾んでいました。同地区では当日の欠席者にもお祝いとして「紅白の大福」を配りました。



お祝い状を贈られた平澤ツメさん

岡村町長、長寿者を表敬訪問
9月12日、岡村町長が95歳以上の方を訪問し、長寿者16人にお祝い状と記念品が贈られました。また米寿（88歳）を迎えられた29人に町からお祝い状と記念品が、金婚を迎えられた22組の夫婦に記念品が贈られました。

おじいちゃん おばあちゃん

ありがとう

東川口、西川口保育園で、日頃お世話になっているおじいちゃん、おばあちゃんに感謝の気持ちを込めた会が行われました。
9月2日、西川口保育園では「おじいちゃん、おばあちゃんありがとうの会」、9月9日、東川口保育園で「おじいちゃん、おばあちゃんの会」が行われ、園児たちは練習した歌や踊りを披露、おじいちゃん、おばあちゃんに楽しいひとときをプレゼントしました。



固定資産税の住宅用地に対する特例のお知らせ

固定資産税の算定においては住宅の敷地で使用されている土地（住宅用地）について、その税負担を特に軽減する必要から「住宅用地に対する課税標準の特例」が適用され、減額して課税されています。住宅を取り壊すと住宅用地として認定できないことから、翌年から特例措置が適用されなくなり、税額が増額することになります。
中越大地震の被害で住宅を取り壊した場合は、震災発生後の2年度分（平成17・18年度）に限り住宅用地として取り扱われ、減額して課税されます。

小高地区以外は、平成19年度から特例適用がなくなります。震災により住宅を取り壊した用地に、平成18年中に住宅を建設しないときは、住宅用地として認定されず、税額が増額します。
平成18年中に住宅を建設する予定がない人は、お問い合わせください。

問い合わせ 税務会計課
☎89-4414

児童手当(10月期)を支払います

児童手当の10月期分(6・7・8・9月分)を10月10日(火)に支給対象者の指定する金融機関口座に振り込みます。なお、個々への支払通知書は発送しませんので預金通帳などでご確認ください。

問い合わせ
福祉保健課
☎89-4419

安心ガスライフ21運動(9月1日~11月30日)

安全型ガス設備機器の普及を推進

ガス事故発生防止のため安全装置のないガス機器の減少と安全型ガス設備機器の普及促進を目的に「安心ガスライフ21運動」を実施しています。

安心してガスを利用いただくための取組

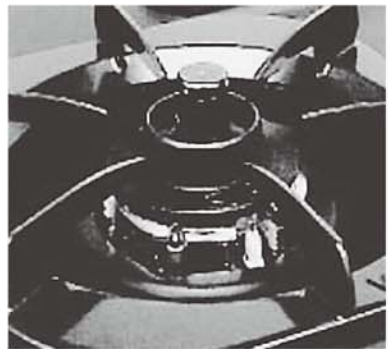
町では、安全機器の普及や安全装置のついていないガス機器の使用に、危険性の周知活動を行っています。またガス管工事などの際には、敷地内ガス管が利用者の資産であることの周知や古くなったガス管の取り替えを勧めるなど住民が安心してガス

事故防止のため、パロマ工場製湯沸器の利用者を特定

町で供給している都市ガスの利用者は、熱量変更作業時にすべてのガス機器を調査したので、パロマ工業製湯沸器の利用者をすぐに特定することができました。
対象機器は3件で、町では事前確認を行い、パロマ工業も無償点検を実施、安全が確認されました。
なお、ハーマンプロ製湯沸器の該当はありませんでした。

安全ガス機器の紹介

○天ぶら油過熱防止装置「温度センサー」が常に油温をチェックし、約250度に達すると自動的にガスを止めて消火する安全設計です。



新潟県で働く全ての労働者に適用される

新潟県最低賃金のお知らせ

新潟県最低賃金が9月30日から改正されました。新しい最低賃金は次のとおりです。

時間額 **648円**

アルバイト・臨時採用などの雇用形態、歩合給制などの給与形態を問わず、新潟県内で働く場合には、法律によって、これ以上の賃金が支払われます。

問い合わせ
新潟労働局賃金室
☎025-234-5924
最寄の労働基準監督署まで

庁内行政改革検討委員会からの提案を受け 行政改革の実施内容をお知らせします

町職員で構成する「庁内行政改革検討委員会」で審議し、町に提案した31の行政改革提案の一部内容と町の対応結果についてお知らせします。

提案1 地域子ども活動支援事業補助金の廃止

現状は

子どもたちを対象とした各種体験活動に対し、その活動費に一定の補助金を交付する事業で、平成14年度から実施しています。
平成14年度～17年度 年間予算45万円
平成18年度 年間予算35万円

検討委員会の提案

この補助金は、平成14年度から完全実施された学校週休5日制に対応し、休日の子どもたちの各種体験活動を支援しようとして実施された事業です。原則1団体初年度に限り

補助する事業で、事業開始から5年経過し、団体の活動初期の経費支援という当初の目的は達成できたものと考えられるため、廃止の提案を行いました。

町の対応

この補助金を受けていた団体においては、子どもたちの体験活動が年間を通じて実施されるようになり、補助金の当初目的は達成できたと判断し、廃止を決定しました。ただし、平成18年度においては、すでに補助金を要望されていた団体もあることから、事業廃止は平成19年度としました。
この対応により年間35万円の経費削減効果が期待できます。

提案2 関越自動車道中之島見附インターチェンジの利用

現状は

町では、県との調整や会議などで新潟市へ出張する場合、公用車を利用することが多くあります。原則的に1人での新潟市出張は公共交通機関を利用することになっていますが、公共交通機関での移動時間が倍近くかかること



から、震災業務で時間のない中で、公用車の利用が中心となっています。

検討委員会の提案

川口から国道17号を利用し、中之島見附ICまでの所要時間が約50分、関越自動車道越後川口ICから中之島見附ICまでが約30分です。

高速道路料金は表1のとおりで、普通自動車で往復1900円、軽自動車を利用すると普通自動車に比べ往復2300円の節減となり年間約30万円節減になります。この差額を考えると、緊急でないかぎり、中之島見附ICの利用することを提案しました。

関越自動車道往復料金(表1)

	普通自動車	軽自動車
越後川口～新潟西IC	4,300円	3,500円
中之島見附～新潟西IC	2,400円	2,000円

また朝夕の通勤時間帯の割引制度など、さらに経費節減が図られる制度も併せて提言しました。



ETC 搭載車

関越自動車道越後川口ICの利用促進の観点からは、今回の提案は逆行していますが、使用料金は町民からの税金であるという原点に返って提案を行いました。

町の対応

町では、全職員に中之島見附ICの利用を促すほか、軽自動車1台にもETCを設置しました。

提案3 コピー用紙の単価入札制度の導入

現状は

役場や出先機関のコピー用紙は町内の業者から納入しており、価格は各業者によって異なります。

また、リサイクルの観点から再生紙を使用しており、この用紙は普通のコピー用紙より価格が3割程度高いものを使用しています。

検討委員会の提案

町内外の業者から見積りを取り、その中で一番安い業者からコピー用紙を納入、紙質はリサイクル用紙が望ましいですが、財政危機を迎えている当町では、何よりも経費節減が課題であり、コピーの質が落ちないものであれば、紙質は問わなくてもよいと提案しました。

町の対応

町では近隣市も含め、コピー用紙の見積りを取り寄せ、町内業者の育成のため、一番安い金額だった業者の値段を示しながら、その金額で納められる町内業者から納入することとしました。これにより年間30万円以上の経費削減効果が期待できます。

また、今回の改革を契機に、コピー用紙の再利用や、会議などの資料を両面印刷するなど、コピー用紙自体の使用量を少なくする取組も行われています。



提案4 自動車通勤職員からの駐車場使用料の徴収

現状は

町職員(臨時職員含む)から役場駐車場の料金は徴収していません。

検討委員会の提案

冬場の役場駐車場は慢性的な駐車場不足で、毎日の除雪に費用がかかっていることから、冬期除雪費として11月～3月までの5カ月間、駐車場使用料月1000円(金額は近隣市の現状から)を町職員

から徴収するよう提案しました。

町の対応

駐車場を使用することは、町の所有地を一定時間占有(独占して使用すること)することから、冬期間だけでなく、年間を通して駐車場使用料を徴収することとし、出先機関も含め、正職員・臨時職員すべての自動車通勤者から徴収することにしました。利用料金は月1000円とし、東川口や川岸地区からの自動車通勤は原則禁止としました。

年間約70万円の歳入が見込まれ、除雪経費などの財源に充てられます。また、料金を徴収することで、自動車通勤以外の通勤方法に切り替える職員もおり、課題であった冬期間の駐車場確保にも効果が期待されます。

問い合わせ

総務課
☎ 89-3111

近隣市の職員からの駐車場料金徴収状況

市名	職員からの徴収 駐車場料金
小千谷市	月1,000円 (通勤手当支給者の場合)
長岡市	月3,000円
魚沼市	無料

みんなでワイワイ楽しい1日 町民ふれあいデー

10月9日 (体育の日) 12時～15時 雨天開催!

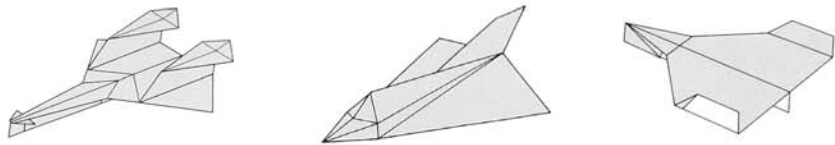
場所 蒼丘の杜公園 屋内ゲートボール場「すぱーく川口」 及びピクニック広場周辺

家族や友達同士、グループ、町内会挙げての参加など自由です。
バーベキューをしたり、ゲーム、レクリエーションなど思い思いの楽しみ方で秋の一日を過ごしてみませんか。

内容 ○親子で飛ばそう! 紙ヒコーキ大会 12時40分～

各自工夫を凝らして作った紙ヒコーキを飛ばし、距離や滞空時間を競います。競技の前に作り方教室を行いますので、気軽に参加できます。素敵な賞品を用意していますので、皆さんのご参加をお待ちしています。

- ・いろいろな紙ヒコーキを作ろう!
作り方教室でいろいろな紙ヒコーキを作って飛ばそう。



○ふるまい鍋 (無料) 12時～13時30分 (無くなり次第終了)

えちご川口生産者協議会の皆さんが、持ち寄った新鮮野菜などを入れたおいしい鍋です。

○ジャンケン大会 14時30分～

参加者全員によるジャンケン大会です。賞品を用意していますので、ぜひご参加ください。

○その他イベント 13時～14時30分

- ・ゴルフ場ハイキング
ゴルフ場のコース内をハイキングし、自然や景観を楽しみます。
- ・世代間交流ゲートボール
町ゲートボール協会の皆さんとゲートボールを使った楽しいゲームなどで交流します。
- ・グラウンドゴルフ体験
グラウンドゴルフコートで自由にグラウンドゴルフを体験できます。
- ・ペットボトルロケット飛ばし (デモンストレーション)
ペットボトルロケットの作成からデモ飛行までを行います。作成を希望する方は、事前にご連絡ください。
(開始の時間は当日会場にてお知らせします。)



※当日、バーベキューの食材などは各自でご用意ください。

問い合わせ 企画商工課 ☎89-3112

かわぐち学びの里大学 魅力あふれる講座を实践

7種類の講座を揃え、4月に開講した「かわぐち学びの里大学」。開講から現在までの各講座の活動内容についてお知らせします。

ふるさと川口塾

町の「昔」を訪ねて学ぶ

毎年、さまざまなテーマで川口町を学習する教養講座「ふるさと川口塾」を開講しています。



る民話や地名の由来・文化遺産の学習など体験学習を含めさまざまな面から学習していきます。

第1回 (7月6日)

「地域に受け継がれる民話」
魚沼市の佐藤愛子さん(元川口小学校教諭)を講師にお迎えし、魚沼地域に伝わる民話を語っていただき、民話の発祥の由来や地域性などを通じ、今後どのように後世に残していくか、庶民が生きていくうえで知恵が盛り込まれた民話を学習しました。

第2回 (8月25日)

「地名・字のなりたち」
相川の横道雄さん(町教育委員)を講師にお迎えし、

「地名・字のなりたち」をテーマに新潟県や信濃川流域、魚沼川沿いの三国街道付近の地名を中心に、身近な地名から隠れた歴史を発見することができるとを学習しました。参加者のみなさんも身近な学習だけに講師のユーモア交えた講演に楽しく学習していました。

第3回 (9月10日)

「昔体験」

新潟県歴史博物館に向き、博物館学芸員から講師をお願いし、「新潟の産業いま・むかし展」を見学しました。出土品や、ものづくりの跡から石油、鉄、うるし、塩などの資源を活用した縄文から現代に続く産業の歴史を学習し、鍛冶職人の指導で本格的な「和くぎづくり体験」を学習しました。

次回は10月27日(金)の予定です。参加希望者は、教育委員会へお問い合わせください。

ボランティア実践講座

「清掃ボランティア」に多数参加!!

この講座は、さまざまなボランティアを実践していただきます。9月17日、蒼丘の杜公園オートキャンプ場の施設清掃ボランティアを行いました。当日は小・中学生及び保護者22人が参加し、夏休みシーズンに出された「空き缶」「ペットボトル」などのゴミを一生懸命に拾いました。ゴミの量は、少なめでしたが、今後も月1回社会奉仕を实践する予定です。多くの方の参加をお待ちしています。



かわぐちちっこクラブ

アウトドアクッキング ミステリークッキングに挑戦! 第1回 (9月23日)



秋晴れの中、蒼丘の杜公園オートキャンプ場で「かわぐちちっこクラブ」アウトドアクッキングが行われました。今年のメニューは、食材をみて参加した子どもたちが何を作るか考える「ミステリークッキング」に挑戦しました。参加した児童も、それぞれの食材を使って思考を凝らしたおいしい「カレー」「焼きそば」「野菜スープ」をつくりとてもおいしそうに食べていました。

また、12月には「ホワイトフェスティバル」を計画しています。

問い合わせ 教育委員会 ☎89-2119

川口町錦鯉品評会を 開催します



泳ぐ芸術品「錦鯉」の品評会が行われます。錦鯉ファンをはじめ、多くの皆様のご来場をお待ちしています。

日時 **10月22日(日) 9時から**

会場 相川サンウッド

問い合わせ

- 宮 日出男 ☎89-2653
- 山崎 清一 ☎89-2306
- 農村振興課 ☎89-3113

第9回 川口町フォトコンテスト 作品募集中

応募期限 10月31日(火)

町民の生き生きとした姿など生活感溢れる作品を募集しています。応募期限が迫ってきました、多くの方からの応募をお待ちしています。

応募先 企画商工課もしくは新潟フジカラー取扱専門店

問い合わせ 企画商工課 ☎89-3112



新潟県中越大震災2周年 合同追悼式を行います

中越大震災で犠牲となられた方々に哀悼の意を捧げるとともに、復興に向けて引き続き力強く歩む決意を内外に示すため、新潟県と被災市町による合同追悼式を行います。

一般の皆様もご参加いただけます。ぜひご来場ください。

日時 **10月23日(月) 10時~11時**

(受付開始 9時)

会場 長岡市立劇場大ホール

主催 新潟県、長岡市、川口町など被災市町

※会場には駐車スペースがありませんので、ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。

問い合わせ 総務課 ☎89-3111

3世代で楽しめる 楽しい健康づくり3B体操

音楽に合わせて気持ちよく体を動かしてみませんか。3B体操は震災以来、皆さんに楽しんでいただいています。3B体操体験会を行いますので、お誘い合わせてお出かけください。

日時 **10月18日(水) 14時~15時**

会場 ・生涯学習センター

・和南津集会所

(2カ所同時に行います)

後援 町教育委員会

問い合わせ

(社)日本3B体操協会 小林
☎025-268-5016

※3B体操とは

使用する3つの用具、ボール、ベル、ベルダーの各々の頭文字をとって名付けられました。すべての運動は音楽に合わせて、みんなで楽しく行う体操です。



第20回町民夜間バドミントン大会 (夜間リーグ戦) 参加者募集

日時 10月26日~11月23日
月・木曜日 20時~22時

会場 川口中学校体育館

内容 ダブルス Aクラス・Bクラス

対象 中学生以上

参加費 1,000円

申込期限 10月20日(金)

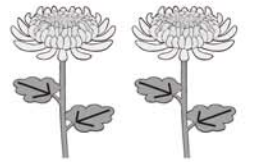
問い合わせ 町バドミントン協会

平沢 正明 ☎89-3872

大野美奈子 ☎89-2222

2006 秋まつりのご案内

10月29日(日)~11月5日(日)



日程及び内容紹介

おまつり広場

10月29日(日) 10時~15時
生涯学習センター周辺

新鮮野菜の販売や楽しいイベントなどが盛りだくさんです。食べて、見て、遊んで秋の一日を満喫してください。

- ・農産物直売
- ・サービスコーナー
(ポン菓子、フライドポテト、わたあめ)
- ・ちびっこコーナー (ふわふわ)
- ・防火パレード
- ・宝船値段当て大会
- ・野菜釣り大会
- ・餅つき
- ・よさこい踊り
- ・防火PRコーナー
- ・中山間地農業技術センターコーナー ほか

問い合わせ
農村振興課
☎89-3113

フリーマーケット 出店者募集

出店料 200円
申込期限 10月23日(月)
申込先 農村振興課 ☎89-3113

作品展示

11月3日(金)~11月5日(日)
生涯学習センター

絵画、書道、工芸品、小中学生の作品などを展示します。魅力ある作品の数々をぜひご覧ください。
問い合わせ 教育委員会 ☎89-2119

芸能発表会

11月3日(金) 13時~
生涯学習センター

町内芸能文化団体などが日頃の練習の成果を発表します。歌や踊り、伝統芸能など楽しい発表会です。ぜひお越しください。
問い合わせ 教育委員会 ☎89-2119

芸能発表会出演者及び 作品展示出品者募集

申込期限 10月23日(月)
申込先 教育委員会 ☎89-2119

わたしの主張'06小千谷・魚沼・川口地区大会

小見 真理江さん (川口中3年) 奨励賞を受賞

8月25日、小千谷市民会館において「わたしの主張'06小千谷・魚沼・川口地区大会」が行われました。この大会で川口中学校3年生の小見真理江さんは「本音で伝えることの大切さ」という題名で部活動で学んだ仲間づくりについて発表し、奨励賞を受賞しました。



本音で伝えることの大切さ

川口中学校3年

小見 真理江

私は中学校に入学し、仲間についてたくさんことを学びました。特にバレー部でたくさん学んだと思います。部活では技術だけではなく、生きていく上で大切なことをたくさん学びました。その中で忘れられないのは、「本音で語り合ったミーティング」です。私たちの学年でバレー部は九人。部活での人間関係は、ごたつてばかりでした。

一年生の終わり頃、私たちの学年は、女子の仲が悪くなりま

した。そこにバレー部もいて、私たちは二つに分かれてしまいました。その時は、話し合いをしました。そして、一応は解決しました。しかし、表面的に仲直りしたという感じで、本当に解決したとは言えませんでした。私は、この関係をどうにかしたいと思っていましたが、どうすることもできませんでした。

二年生になり、三年生が引退すると、私たち中心での部活が始まりました。やっぱり途中で仲間割れることが何度もありました。私は次第に、今まではあまり意識しなかった「チームプレー」への影響について、強く感じるようになりました。

大会結果は、残念ながら予選リーグ敗退でした。悔しかったです。でも、すてきな仲間とバレーをできてよかったと心から思えました。私はこの経験を通して、本当の仲間を作るには、本音で話し合うことが大切だと学びました。もしかしたら、本音で話し合いをして、さらに仲が悪くなるかもしれません。でも、私はそれでもいいと思えるようになりたいです。本音で話し合いをしなければ何の解決にもならないし、本当に分かり合えないままになってしま

くて仕方ありません。本音を言うにはとても勇気がいると、この時実感しました。しかし、「今しか話せない」と思い、話しました。すぐに涙が溢れました。どんどん溢れてきて止まりませんでした。まるで夢の中の出来事のように感じられました。みんなも泣きながら話しました。そして泣きながら聞きました。みんなが泣いた後、ついにみんなの心が一つになったと思えました。今までずっと一緒に辛い部活をやってきた仲間だったので、本当にうれしかったです。

それからの練習は一緒にバレー

自分の思いをしっかりと伝え、それで仲が悪くなったら、さらに話し合いを続けたいと思います。

そんな時間を繰り返すことで、つまり、自分の本音を言い、相手の本音も聞くということを続ける中で、信頼が生まれ、一緒に楽しく過ごせる本当の仲間が得られると思うからです。それが、私がバレー部で学んだ忘れられない、一番大切なことです。

間関係がうまくいっている時とそうでないときでは、プレーにかなり差があるように思えました。コートの中の冷たい雰囲気。けれども、やはり自分からどうにかしようと、行動できません。私は確かに、一年生の頃より解決のためにいろいろと考えるようになりました。それなのに、やっぱり知らんぷりを続けていました。その理由は、自分から口を出して誰かに嫌われるのが、怖かったからです。

というところが一年くらい続きました。一人になった私は、自分から解決したいと思っても、怖くて、孤独で何もできませんでした。「学校に行きたくない」重くて苦しい日々でした。また仲間はずれにされたらどうしよう。また誰かに嫌われたらどうしよう。私はこの怖さに自分から一歩を踏み出せませんでした。

大会結果のお知らせ (敬称略)

第1回魚沼市・川口町小学校親善陸上大会 (9月21日 蒼丘の杜公園グラウンド) ※8位まで掲載

Table with 2 columns: Event/Category and Results. Includes 5年女子 (400Mリレー, 800M), 走り高跳び, 走り幅跳び.

Table with 2 columns: Event/Category and Results. Includes 5年男子 (走り高跳び), 6年女子 (400Mリレー, 100M, 800M, 走り高跳び, 走り幅跳び), 6年男子 (80Mハードル, 走り高跳び).

人権、心配ごと相談・行政相談の合同相談会を開催します

日頃から気になっていたことなど、お気軽にご相談ください。相談は無料です。

日時 10月2日(月) 9時~12時
会場 末広荘
問い合わせ 総務課 ☎89-3111

巡回無料法律相談を開催します

新潟県弁護士会で、例年実施している巡回無料法律相談を川口町で行います。予約制ですので、希望者は総務課までお申し込みください。なお、人数に限りがありますので、先着順とします。

日時 11月8日(水) 10時~16時
会場 生涯学習センター研修室
受付人数 約10人 (1人30分程度)
問い合わせ・申し込み 総務課 (北村) ☎89-3111





「ファーム田麦山」の共同作業所を視察

9月16日、木沢、田麦山地区に新潟県地域づくり研修ツアーのメンバーが訪れ、どのように地域づくりを進めているかなどの取組を学び、地区住民との交流を深めました。

この研修ツアーは、9月15日、16日の2日間かけて中越大地震の被災地を巡り、地域づくりの現場で活躍する人から生の声を聞き、学ブプログ

地区のわだい

県地域づくり研修ツアー参加者

木沢、田麦山地区の地域づくりを学び、住民と交流

ラムです。新潟県などの主催により行われ、地域づくりにと興味のある個人、団体など合わせて20人が参加しました。

当日には、このツアーの2日目に訪れ、木沢地区では、地元のお母さんたち手作りの昼食を取りながら、「フレンドシップ木沢」の会長阿部義夫さんなどから復興に向けた地域づくりの取組についての話を聴きました。また自力で復旧した二子山までの遊歩道を視察、頂上からの眺望を楽しみました。



▲木沢地区で交流

田麦山地区では「農事組合法人ファーム田麦山」の代表 涌井清嗣さんが農業の組織化をした経緯や概要を説明、共同作業所などの視察も行いました。また地域づくり団体「いきいき田麦山」のメンバーが立ち上げの経過を説明しました。

参加者は地震当時の状況や地域づくりの取組について質問するなど熱心に地区住民と語り合い、おのの地域づくりの参考としていました。

グリーンツーリズムの先進地視察研修へ参加 地域の体験交流に活かす

9月5日、長岡地域農業振興協議会主催のグリーンツーリズムの先進地視察研修が阿賀町で開催され、当町からも木沢・田麦山・和南津地区から9人が参加しました。

この研修は、修学旅行の受け入れなどの実施により、年間4千人以上を受け入れ、町の活性化に活かしている奥阿賀体験教育旅行の取組を今後の各地域で活かす目的で開催されたものです。

研修では、奥阿賀地域で行われている体験メニューの体験や事業を運営しているNPOにいたる奥阿賀ネットワークと農家民泊実践者からの話など今後の体験交流事業に活かせる内容でした。

参加者でアケビのつる細工を体験した木沢の星野正子さんは、「大体やり方がわかったので、これからあけびのつるを採り、木沢で一度やってみよう」と話していました。

町では、今後も体験交流の視察研修を実施する予定ですので、参加を希望する個人や団体がありましたらご連絡ください。

(農村振興課 ☎89-3113)



▲アケビのつる細工体験



▲木工体験

HOT ピックアップ

身近な情報をお寄せください!

企画商工課
☎89-3112

交通安全全国キャラバン隊 交通事故ゼロを呼びかけ

9月8日、交通安全全国キャラバン隊が当町を訪れ、内閣府特命担当大臣交通対策本部長のメッセージを町に伝達しました。

このキャラバン隊は社団法人安全母の会連合会が、内閣府の委託を受け、「みんなですすめる交通安全」をスローガンに、交通安全意識の更なる高揚と交通事故防止を目標として、会員手作りの活動を、全国的に展開しているものです。

伝達式には、町交通安全協会役員や交通指導員など約50名が参加、キャラバン隊からメッセージの伝達と町長から交通安全の決意・信条を書いた色紙の交付が行われました。

キャラバン隊は「交通事故ゼロを目指そう」と呼びかけていました。



魚沼市・川口町小学校親善陸上大会 14小学校5・6年児童が走って!跳んで!

9月21日、蒼丘の杜公園多目的グラウンドで当町の3小学校と魚沼市の11小学校の5・6年生による親善陸上大会が行われました。

これは昨年度まで北魚沼郡小学校親善陸上大会として郷ごとに行われていたものが、合併により「魚沼市・川口町」と名称を変えて行う初めての大会です。

当日は941人の児童が集まり、トラックでは100、800、1500メートル走、400メートルリレー、80メートルハードルが、フィールドでは走り高跳び、走り幅跳びが行われました。

児童たちは練習の成果を発揮し、優勝や自己ベスト記録を目指して競い合いました。また他の児童の競技時には精一杯応援していました。



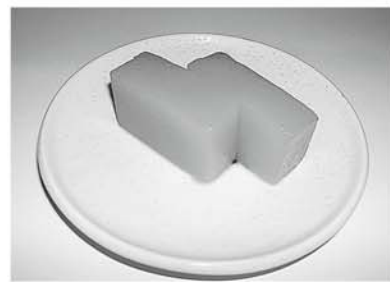
元気モリモリ コンロひとつでアイデア料理 かぼちゃようかん

ほくほくと甘いかぼちゃ、おいしいだけでなく、栄養成分の面でもすぐれています。炭水化物が主で、ビタミンA・B1・B2・Cの含有量も多いです。

「コンロひとつでアイデア料理」は食生活改善推進委員が紹介しています



右から 丸山 久子 (牛ヶ島) ☎89-3831
阿部 英子 (武道窪) ☎89-3924



- 材料 (4人分)
かぼちゃ……中½個
水………400cc
粉寒天………4g(1袋)
砂糖………大さじ3
塩………少々

●作り方

- ①かぼちゃは種を取り除いていちよう切りにし、柔らかくなるまで蒸す。
- ②柔らかくなったら皮を除き、裏ごしする。
- ③鍋に水400ccを入れる。この中に粉寒天を振り入れ、だまにならないように混ぜて溶かす。
- ④③を火にかけ、かき混ぜながら1〜2分沸騰させる。この中に砂糖・塩・裏ごししたかぼちゃを加えよく混ぜ合わせる。
- ⑤ボールに氷水を張り、鍋ごと冷やす。
- ⑥固まったら竹ぐし等ではがし、食べやすく切り分ける。